



地球の未来 日本からの提案Ⅱ
サイエンスアゴラ 2012

に生きる

シンポジウム

あなたにとって地球に生きる素養とは何ですか？

大地震、津波、集中豪雨、突風・竜巻など、地球上に生きる、我々、地球人は、活動的な地球によってさまざまな影響を被っています。激しく変化する自然現象に対して、安全に立ち向かうためには、「地球に生きる素養を身につける」ことが大切です。地球、そして身の回りにある自然を科学的に理解し、自然が引き起こす影響を適切に予想し、また、予測の限界を知ったうえで行動できることが、「地球に生きる素養」あるいは「教養」と考えています。本講演会では、さまざまな自然現象に対して、われわれがどう対処し、暮らすのか？について、専門的な視点からさまざまな提案を行ない、参加者のみなさんと議論したいと思います。

<プログラム>

北里 洋 (海洋研究開発機構)

入倉 孝次郎 (京大名誉教授)

千木良 雅弘 (京大防災研)

益田 晴恵 (大阪市大)

松本 良 (東大名誉教授)

熊木 洋太 (専修大)

佐々木 晶 (宇宙開発機構)

シンポジウムの趣旨説明

2011.3.11 地震・津波に学ぶ

日本列島の成り立ちと地質災害

「命の水」の危機 - 水資源の未来

ガスハイドレートをエネルギー資源に

住んでいる土地を知る

宇宙から地球を考える

平成 24 年 11 月 11 日 (日)
10:30 ~ 12:00 当日先着 70 名



産業技術総合研究所臨海副都心センター
別館 11 階 2・3 会議室

お問い合わせ

北里 洋 (kitazatoh@jamstec.go.jp)

住所: 〒237-0061

横須賀市夏島町 2-15 海洋研究開発機構

海洋・極限環境生物圏領域

電話: 046-867-9767

主催: 日本学術会議地球惑星科学委員会社会貢献分科会

素養を身につけよう